

新人1年目の歩み

- 4月 新人研修（接遇研修）があり、その後3店舗（会営薬局宮崎地区研修センター、会営薬局清武地区研修センター、会営ひがし薬局）の薬局を各3日間ずつ見学。その後決定した配属先での業務がスタート。

会営薬局清武地区研修センター

- 4月 調剤が中心。業務の合間に採用薬について勉強し投薬に向けて準備。
5月 監査の練習も開始。また先輩薬剤師と投薬のロールプレイを行い投薬に向けて準備。
6月 保険薬剤師の登録完了後、投薬を開始。一包化の監査も開始。
前半、目薬や湿布など外用薬を中心に投薬（1日平均1～3枚程度）
後半、抗リウマチ薬等の内容も投薬開始。
7月 降圧薬や糖尿病薬なども投薬開始。（1日3～6枚程度）また次第に自信のある処方箋の投薬を開始。
8月 ほぼ全科の投薬を開始。（1日10枚程度）
9月 全員でのシフト体制へ（1日平均20枚以上）

会営ひがし薬局

- 4月 調剤が中心。初めはピッキング、徐々に散剤、一包化も行い4月中に全ての調剤を行う。
5月 調剤を中心に月末から吸入患者の投薬開始。
6月 吸入患者、湿布、1～2剤程度の処方箋の患者を投薬
（1、2週目は1日1～2枚・3、4週目は3～4枚程度）
7月 吸入薬、湿布等の外用薬を中心に投薬（1日5～10枚程度）
8、9月 処方箋の内容に関係なく投薬（1日10枚程度）
10月 全員でのシフト体制へ（1日平均20枚以上）

会営薬局宮崎地区研修センター

- 4、5月 調剤が中心。空いた時間に管理薬剤師による投薬ロールプレイなどを行う。
薬剤師免許証が届いた後から徐々に投薬へ。
6月 目薬、貼り薬、歯科処方を中心に投薬。
7月 乳がんの患者さんを中心に投薬（1日平均4～5枚）。
8月 一包化や散剤の監査も開始（1日平均10枚前後）。
9月 小児科、精神科の投薬開始（1日平均10～20日枚）。
10月 ほぼ全科の投薬。
11月 全員でのシフト体制へ（1日平均20枚以上）。

各店舗で多少違いはありますが、どこの店舗においても、先輩薬剤師が丁寧に指導してくれます。新人として一番緊張する投薬に対しても、業務の合間をみてロールプレイを行っていただけるなど、技能面だけでなく精神的にもゆとりをもって業務に取り組める環境にあると思います。また各店舗、総合病院の門前であることから様々な処方内容に触れることができ、学ぶことが多いだけでなく調剤技術等の手技の面でも大きく成長できる環境だと思います。

他にも、毎月第二木曜日には新人薬剤師を対象とした二木会という勉強会、第三木曜日には職員全員を対象とした三木会という勉強会があります。二木会では保険調剤の勉強や処方解析などを行い知識を深めることができました。また三木会ではメーカーの勉強会などを通して知識を深めることが出来ました。さらに勉強会の後には先輩薬剤師の先生方や同期のメンバーで食事会にいき、親睦を深めることもできました。



最後に、会営薬局ではどの店舗においても、総合病院の門前であることから、様々な処方内容に触れることができ、それに伴い多様な薬剤に触れる機会も多く、非常に充実した毎日を過ごすことができます。

文章ではなかなか伝わらないと思いますが、興味を持たれた方、一度会営薬局を見てみたい！という方は、見学だけでも構いませんので是非ご連絡下さい。

連絡先

一般社団法人宮崎市郡薬剤師会事務局

TEL : 0985-24-7899 FAX : 0985-24-1932

E-mail : shiyaku@aqua.ocn.ne.jp

担当 : 井上 (事務局長)